

# BUSINESS REPORT

第62期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日



TOKYO KIH0

証券コード：7597

代表取締役社長 **政木喜仁**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃は格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに当社第62期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における事業の概況を取りまとめましたので、ご報告を申し上げます。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

### 当期の概要 || Review of Operation

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により二度にわたる緊急事態宣言が発出されるなど、社会・経済活動が大きく制限され、企業業績や景況感の悪化、個人消費の落ち込みなど極めて厳しい状況となりました。

宝飾業界におきましても、このような景況を反映して極めて厳しい経営環境にあります。

当社においては、催事販売を営業活動の主力としているため、催事における集客が落ち込んでしまい売上は前年を大幅に下回る結果となりました。

利益面においては、売上総利益率の改善を図り、全社を挙げて経費削減にも努めましたが、固定経費を上回る収益を確保するに至らず営業利益、経常利益、当期純利益ともに大きく前年を下回る結果となりました。

その結果、売上高3,259百万円（前期比27.6%減）、営業損失58百万円（前期は4百万円の営業利益）、経常損失109百万円（前期は28百万円の経常損失）、当期純損失117百万円（前期は165百万円の当期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当事業年度より、報告セグメントを従来の単一セグメントから「宝飾事業」「不動産賃貸事業」の2区分に変更しております。以下の前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で表示しております。

（宝飾事業）

宝飾事業につきましては、前述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大により、営業活動が制限された影響で、業績は大きく落ち込むこととなりました。その結果、売上高3,098百万円（前期比28.7%減）、営業損失16百万円（前期は78百万円の営業利益）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業につきましては、賃貸収入に大きな変動はなく、賃貸原価は前年度に大規模な立体駐車場の修繕工事を行った事等により15百万円減少しております。その結果、売上高161百万円（前期比2.1%増）、営業利益67百万円（前期比32.0%増）となりました。

## 心から心へジュエリーでつなぐ豊かな未来

東京貴宝は、経済的な豊かさだけでは決して得られない「夢や感動や癒し」を求める心をジュエリーという形に表現してお客様につないでいくことが使命と考えております。

ジュエリーは生活必需品ではありませんが、単なる形としての美しさだけではなく、お客様の思いや歴史や物語が投影されて、その人の人生に潤いと豊かさをもたらすものだと信じております。

東京貴宝は、ダイヤモンドジュエリー、カラーストーンジュエリー、パールジュエリーなどフルアイテムを提供できるジュエリー総合商社としての役割を担いつつ、オリジナリティ豊かでハイクオリティなジュエリー開発に邁進しております。

東京貴宝は、原材料の仕入からジュエリーを身に着けてくれるお客様まですべての段階で、すべての人々が幸せと感じられるような企業を目指しています。

### 次期の見通し || Forecast

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が明確に見通せない中、ワクチン接種の伸張が個人消費回復のカギになるものと期待しております。

このような状況の中、宝飾事業において催事販売を営業の主力とする当社にとって、新型コロナウイルス感染症収束に伴う消費マインドの回復に期待をかけておりますが、少なくとも次期の前半においては新型コロナウイルス感染拡大の影響は残るものと見なければなりません。対策の一環としてのイベント自粛のような事態が長期化した場合、大きく業績を押し下げることとなります。そうした状況にあって、お取引先様とともに催事への集客を図るとともに、新規取引先の開拓や付加価値の高い商品開発、コスト低減により採算性を重視した取り組みを行い、黒字転換を図って参ります。

しかしながら、現段階において、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが判然とせず、収益の急拡大が見通せる状

況ではありません。次期の予想につきましては、売上高3,947百万円（前期比25.8%増）と予想しております。利益面につきましては、営業利益88百万円（前期は58百万円の営業損失）、経常利益62百万円（前期は109百万円の経常損失）、当期純利益39百万円（前期は当期純損失117百万円）となる見込みであります。なお、株主配当につきましては通期で60円を予想しております。

（注）2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、前期比率及び前期実績についても、当該会計基準等を適用したと仮定して算定しております。



**ECREVE**  
TK FINE JEWELS  
エクレブ

「奇跡（輝石）との出会いから生まれる  
未来（夢）の実現」「エクレブ—ECREVE—」は、  
輝き【eclat】と夢【reve】に想いを込めたブランドです。



さくらダイヤモンド。  
それは和の心と  
ヨーロッパのモダニズムの融合を  
コンセプトに開花した美意識の結晶。

さくらダイヤモンド®  
Cherry blossoms diamond  
*Sakura*

# LUCCIOLA



女優・夏樹陽子デザインのブランド。  
ルシオラとはイタリア語、ラテン語で  
蛍を意味します。  
これは以前夏樹さんが夢の中で見た  
無数の蛍の光が  
すべてダイヤモンドだったことに、  
強烈な印象と言葉では言い表せない  
幻想的なイメージを受けたことに  
由来してブランド名としました。

# Asplendi



“日常の中の小さな非日常”をテーマに  
大人の女性の遊び心を満足させる  
ジュエリーを提案するアスプレнди。  
さりげなくも大胆な  
“ピンキーリングコレクション”は、  
アスプレндиの代表作です。

# Non-Consolidated Financial Statements

## 貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第62期) 2021年3月31日現在	前期 (第61期) 2020年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,534	4,749
固定資産	2,132	2,018
有形固定資産	1,969	1,874
無形固定資産	10	9
投資その他の資産	153	134
<b>資産合計 POINT 1</b>	<b>6,667</b>	6,767
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,390	2,578
固定負債	1,130	897
<b>負債合計</b>	<b>3,520</b>	3,476
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,141	3,292
資本金	636	636
資本剰余金	504	504
利益剰余金	2,085	2,236
自己株式	△ 84	△ 84
其他有価証券評価差額金	6	△ 1
<b>純資産合計</b>	<b>3,147</b>	3,290
<b>負債純資産合計 POINT 2</b>	<b>6,667</b>	6,767

※ 当期より不動産賃貸取引に係る「表示方法の変更」を行っております。  
これに合わせ前期の数値の組替えも行っております。

## 損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第62期) 自2020年4月 1 日 至2021年3月31日	前期 (第61期) 自2019年4月 1 日 至2020年3月31日
売上高	3,259	4,502
売上原価	2,188	3,107
売上総利益	1,071	1,394
返品調整引当金戻入額	1	1
返品調整引当金繰入額	—	1
差引売上総利益	1,072	1,394
販売費及び一般管理費	1,131	1,389
営業利益 (△は損失)	△ 58	4
営業外収益	13	8
営業外費用	64	42
経常利益 (△は損失)	△ 109	△ 28
特別利益	59	242
特別損失	73	15
税引前当期純利益 (△は損失)	△ 124	198
法人税、住民税及び事業税	3	9
法人税等還付金額	△ 4	—
法人税等調整額	△ 6	23
当期純利益 (△は損失) POINT 3	△ 117	165

※ 当期より不動産賃貸取引に係る「表示方法の変更」を行っております。  
これに合わせ前期の数値の組替えも行っております。

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第62期) 自2020年4月 1 日 至2021年3月31日	前期 (第61期) 自2019年4月 1 日 至2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	196	276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 116	△ 33
財務活動によるキャッシュ・フロー	106	△ 213
現金及び現金同等物の増減額	187	29
現金及び現金同等物の期首残高	427	397
現金及び現金同等物の期末残高	614	427

## 決算のポイント

## POINT 1 資産

総資産は、前期末と比べ99百万円(1.5%)減少し6,667百万円となりました。主な変動内訳は、現金及び預金の増加157百万円、土地の増加106百万円、商品の減少275百万円、売掛金の減少63百万円等であります。

## POINT 2 負債純資産

負債合計は、前期末と比べ43百万円(1.3%)増加し3,520百万円となりました。主な変動内訳は、長期借入金の増加240百万円、短期借入金の増加80百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少191百万円、買掛金の減少35百万円等であります。

また、純資産合計は、前期末と比べ143百万円(4.4%)減少し3,147百万円となりました。主な変動内訳は、利益剰余金の減少150百万円等によるものです。

## POINT 3 当期純利益

当社は、ホテル等を利用した大型催事と取引小売店主催の小規模店頭催事を営業活動の主力としておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大により集客数が大幅に減少したことに加え、感染拡大防止措置による外出の自粛や臨時休業、営業時間の短縮等により、営業活動が大幅に制限されることとなりました。

その結果、売上高3,259百万円(前期比27.6%減)、営業損失58百万円(前期は4百万円の営業利益)、経常損失109百万円(前期は28百万円の経常損失)、当期純損失117百万円(前期は165百万円の当期純利益)となりました。

## 株式の状況

(2021年3月31日現在)

- ◆発行可能株式総数 1,311,000株
- ◆発行済株式数 420,111株  
(自己株式27,745株を除く)
- ◆株主数 281名
- ◆大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
政木 喜三郎	43,887	10.5
政和商事株式会社	33,779	8.0
東京貴宝取引先持株会	31,500	7.5
有限会社ウラケイパール	16,500	3.9
有限会社ケイ・エム商事	15,900	3.8
株式会社古屋	15,700	3.7
さが美グループホールディングス株式会社	15,400	3.7
政木 喜仁	15,400	3.7
政木 ふじ江	14,238	3.4
株式会社並木製作所	14,200	3.4

(注) 持株比率は、自己株式(27,745株)を控除して計算しております。

## 役員の内訳

(2021年6月24日現在)

代表取締役社長	政 木 喜 仁
取締役	政 木 喜三郎
取締役	染 未良生
取締役	染 谷 和 行
取締役 監査等委員	石 河 正 晴
取締役 監査等委員	嘉 村 孝
取締役 監査等委員	富 所 淳

## 会社の概要

(2021年3月31日現在)

- ◆社名 東京貴宝株式会社
- ◆設立 1960年11月
- ◆所在地 **【本社】** 〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2  
TEL 03-3834-6262 (代表)  
**【大阪営業所】** 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-30 菅田ビル  
TEL 06-6252-7838 (代表)
- ◆資本金 6億3,660万円
- ◆事業内容 貴金属宝飾品の企画、製造、輸入および卸売業  
不動産賃貸業
- ◆従業員数 88名
- ◆URL <http://www.tokyokiho.com>

## 株主還元について

当社は株主に対する利益還元を最優先課題と認識しております。今後の経営環境および業績等を勘案しつつ株主還元を重視し、継続的な安定配当を行うことを基本といたしております。適切な内部留保を確保した上で、株主に対する積極的な利益還元に努めて参ります。

# Stock Holders Memo

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	毎年3月31日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	同上
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  TEL 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日除く)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告 当公司公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 <a href="http://www.tokyokiho.com/kessan.html">http://www.tokyokiho.com/kessan.html</a>
【ご注意】	<ol style="list-style-type: none"><li>株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。</li><li>特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。</li><li>未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。</li></ol>